

『歯科医院の経営をチームで考える！ 歯科医院をまとめるリーダーのための教科書』

正誤表

この度は、『歯科医院の経営をチームで考える！ 歯科医院をまとめるリーダーのための教科書』（小原啓子編著、2020年7月 医歯薬出版刊）をご購入くださいますと誠にありがとうございました。以下の箇所には誤りがございましたので、ここに訂正するとともに深くお詫び申し上げます。

PI21 表2

以下、赤・太字部分の数値を訂正・追加いたします。

表2 一般的な医療法人歯科医院の1年の収支額平均と構成比率

歯科医院の収入				92,037	100	歯科医院の経費				92,037	100
I	保険等収入	71.9%	保険診療収入	65,941	71.6	変動費	17.0%	医薬品費	835	0.9	
			在宅サービス収入	161	0.2		歯科材料費	7,379	8.0		
			労災等診療収入	79	0.1			委託費（技工・廃棄物・事務）	7,427	8.1	
	自由診療収入	26.0%	その他の診療収入	23,926	26.0	固定費	77.1%	人件費	45,254	49.2	
	その他	2.1%	その他の医業収入	1,905	2.1		減価償却費	3,948	4.3		
		その他の介護収入	25	0.0	（再掲）建物減価償却費		395	(0.4)			
							（再掲）医療機器減価償却費	1,720	(1.9)		
							その他の医業経費	21,730	23.6		
							（再掲）設備機器賃借料	957	(1.0)		
							（再掲）医療機器賃借料	565	(0.6)		
III	利益	5.9%	損益差額（I－II）	5,465	5.9						
IV	税金			663							
V	税引き後の利益			4,802							

・その他の医療収入とは学校医・産業医・当番医の手当、健康診断、各種検診、文書料等の収益・その他（受取利息、配当金、補助金等）

平成 29 年 中央社会保険医療協議会医療経済実態調査より作成